



MIRAIプログラム(招へいプログラム)報告

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、欧州・中央アジアから欧州・ロシア・中央アジア・コーカサスより、将来各界で活躍が期待され、また対外発信力のある大学生・大学院生150名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成27年12月15日から22日の1週間の日程でプログラムを行いました。

2. 参加国・人数

アイスランド(1)、アイルランド(1)、アゼルバイジャン(1)、アルメニア(1)、イタリア(10)、ウクライナ(1)、ウズベキスタン(10)、英国(10)、エストニア(1)、オランダ(2)、カザフスタン(10)、ギリシャ(1)、キルギス(10)、クロアチア(1)、ジョージア(1)、スイス(1)、スウェーデン(2)、スペイン(10)、スロバキア(1)、スロベニア(1)、セルビア(1)、タジキスタン(10)、チェコ(1)、デンマーク(1)、ドイツ(10)、トルクメニスタン(10)、ハンガリー(2)、フィンランド(2)、フランス(10)、ブルガリア(1)、ベラルーシ(1)、ベルギー(1)、ポーランド(3)、欧州大学院大学ベルギー(7)、欧州大学院大学ポーランド(3)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(1)、ポルトガル(2)、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国(1)、ラトビア(1)、リトアニア(1)、ルーマニア(2)、ルクセンブルク(1)、ロシア(2) 計150名

3. 訪問地

全員訪問：東京都

51グループに分かれて訪問（1グループ3名程度）：岩手県、宮城県、新潟県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、長野県、石川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県

4. 日程

- 12月15日(火) 成田空港／羽田空港より入国
来日時オリエンテーション
- 12月16日(水) 六本木ヒルズタワー展望室・美術館訪問（全員）
5グループに分かれ、企業・博物館等訪問
（日本科学未来館、江戸東京博物館、独立行政法人国際協力機構、ロジスティックセンター、中小企業）
- 12月17日(木) 慶應義塾大学訪問
（対日理解に関する講義聴講、大学生・大学院生との意見交換・交流）
- 12月18日(金)～12月20日(日)
51のグループに分かれ、地方へ移動

東京へ移動

12月21日(月)

明治神宮訪問

2グループに分かれ、企業訪問

外務省表敬, 成果報告会

12月22日(火)

成田空港／羽田空港より出国

一部: 皇居・二重橋、浅草視察

5. MIRAI プログラム記録写真



2015年12月16日 日本科学未来館

2015年12月17日 慶応義塾大学



2015年12月21日 明治神宮

2015年12月19日
ホームステイ(佐賀県)



2015年12月18日 表敬訪問(岩手県)



2015年12月21日 成果報告会



2015年12月21日 成果報告会(外務省)

6. 参加者の感想

- (フィンランド／学生)

プログラムはとてよく準備されていて、日本について学ぶ要素が多く含まれており、日本や日本文化に対する自分自身のさらなる興味へとつながりました。人生において忘れることのできない、かけがえのない体験になり、今後さまざまな局面で迎える自分自身の重要な選択の場面で、MIRAIプログラムでの体験が役に立つでしょう。細かい点としては、もうすこし自由時間があると、自分たちの足で日本の都市や地方の現実に触れることができ、さらに意義深い経験になったかと思います。

- (カザフスタン／学生)

日本や日本の社会をよりよく知ることに加え、将来活躍するであろう各国の若手リーダーたちとの交流の機会に恵まれ、大変貴重な体験でした。MIRAIプログラムを通じて、日本政府は毎年異なる国の若手リーダーたちが集う機会を提供し続けてほしいと願っています。

- (デンマーク／学生)

視察先のなかで、一番充実していたのは慶應義塾大学でのプログラムでした。講演はとてもためになり、またその後のディスカッションの時間も充実していたため、ここで今回のプログラムが意図していた日本の政治・経済の学びの大半を得ることができました。JICA、伊藤忠商事、外務省などでもう少し時間があるとよかったです。文化的側面では、明治神宮とホームステイ体験から多くの学びを得ることができました。

- (スウェーデン／学生)

なによりも地方でのホームステイ体験が一番でした。日本社会や日本人への理解を深めることにつながりましたし、日本人との肌の交流で、絆を深めることができたと感じます。

- (ドイツ／学生)

ヨーロッパ、ロシア、コーカサス、多くの国からの学生と親しくなれたことは素晴らしかった。近々必ずこれらの国を訪問して、MIRAIプログラムで知り合った人たちと再会したいです。

- (フランス／学生)

都内行事では時間的制約が多と感じましたが、地方では一変して時間がゆるやかに流れ居心地良く感じました。

- (ポーランド／学生)

素晴らしいプログラムでした。あと数日長いとそれぞれのプログラムに余裕が生まれ、よりよい体験になると感じました。

7. 参加者の帰国後の発信内容



プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を使って広く発信されました。

Facebook コミュニティ <http://www.facebook.com/MIRAIprogramme>

Blog <http://mirai15blog.wordpress.com/>

Twitter、Facebook ハッシュタグ #mirai15